令和２年度　第１回保健福祉政策審議会

1. 日時：令和２年８月５日（水）１３：３０～１４：１０
2. 場所：岡山市保健福祉会館９階　機能回復訓練室
3. 議題（１）岡山市地域共生社会推進計画（地域福祉計画）の改訂について

＜主要な意見＞

○施策５について、コロナ禍での有効な地域づくり・活動支援というのは、ステイホームと言われている中で、

地域の方々も集まることが難しい状況だが、何か良い方法を検討してほしい。

○地域包括ケアシステムができた際には、市民あるいは行政の中でも、なかなか理解が進まないという課題があった。地域共生計画についても、行政だけではなかなか浸透しない部分もあり、市民の方にも協力してもらいながら啓蒙や、分かりやすい広報活動、配置しているコーディネーターの活用が必要。

○地域づくりはとても大切なことだと思うが、現状と課題の部分にある民生委員からの声として民生委員だけの

見守りは限界ということで施策を作っていると思うが、そういったところに声を上げられない、どことも繋が

らない障害者の方等もいるので、そのあたりの視点が必要。

○地域共生計画を策定した際は、コロナのような影響が出るとは誰も考えていなかったと思う。内容を見ている

と、やはり人が集まったり訪問したりといった内容も多くあるため、そういった部分は当初の計画通り進むの

か、それとも誰も予測できない事態が起こったので計画を多少変更するのか、皆さんの意見を聞いていて感じ

たところ。また、やはり一人暮らしで亡くなる方が多い。地域づくりや民生委員の訪問でも外に出てこない方

が問題で、どうやってその方々を救っていくのかが重要。

○それぞれの関係機関がもう少し集まって話し合いをする場が必要ではないか。関係機関が集まって話し合いする場を設けないと、支援が漏れる方がどうしても出てきてしまう。包括、社協、民生委員、それぞれは一生懸命やっているが、情報が共有出来ていない部分があるのではないか。